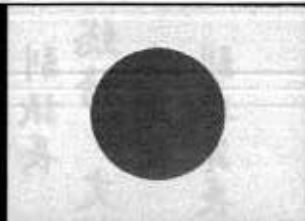


式成人村品片第56回祝

主催 片品村教育委員会



CONTENTS

新年のごあいさつ	2
こんなことが決まりました	2
討 論	3
こんな質疑がありました	4
行政視察報告	5
一 般 質 問	7
編 集 後 記	8

発 行 者 片 品 村 議 会
 発 行 責 任 者 田 邊 順 一 夫
 編 集 委 員 入 澤 登 喜 夫
 ◎ 星 野 育 夫
 ○ 角 田 政 弘
 星 野 幸 男
 有 限 公 司 野 村 印 刷 所
 印 刷 所

品片村

議会だより

PHOTO
第56回片品村成人式

平成16年1月31日発行

第99号

謹賀新年

議長 田邊順夫
 副議長 星野育夫
 総務・文教常任委員会 入澤登喜夫
 委員長 吉野平一
 副委員長 吉野賢一
 吉野野賢一
 星野野賢一
 萩原一志
 田邊順一
 民生・観光常任委員会 角田政弘
 委員長 星野長命
 副委員長 星野長命
 産業・建設常任委員会 千原金造
 委員長 星野幸雄
 副委員長 星野幸雄
 星野野幸雄
 後藤正一
 吉野野正一
 星野野正一

十二月定例会 (十二月十二日)

こんなことが決まりました

利根沼田地域市町村合併協議会に

加入申し入れをする決議が

可決されました

昨年末に利根村と白沢村が示した、西部四市町村で構成する法定協議会への加入希望の意向を受け、片品村も同協議会へ加入の申し込みをするよう、村長の決断を求める決議が可決されました。

※決議…事実上の議会の意志の形成行為であり、議会が内外ともに意思を表明することである。ただし、法的な拘束力はない。

利根沼田地域市町村合併協議会に

加入申し入れをする決議

本村は九月二十二日に利根沼田九市町村で目指した法定合併協議会から離脱して、利根東部での合併を模索、協議を重ねてきたが、この過程に於いて、利根村と白沢村が利根沼田地域市町村合併協議会参加希望へと変化した。

現在、合併問題は自治体にとって避けて通れない最重要課題であり、基本的方向を見誤り次世代に過酷な負担をかける事の無いように、利根、白沢、両村同様、四市町村で構成している同協議会への加入申し込みをするよう、村長の決断を求めるところを決議する。

平成十五年十二月十二日

片品村議会

一般会計は、コミュニティ助成金、在宅介護支援センター委託料、花の駅運営管理委託費など七、二〇〇万円余の補正

今回の補正は、一般会計で総額七、二〇〇万円五千円の増額となり、予算総額は四二億九、八五一万二千元となりました。

歳入の主なものは、地方交付税五、八〇八万六千元及び国・県の補助金合わせて一、三二七万九千円の増

額などです。

また、歳出の主なものは、総務費一、五三〇万四千円、民生費二、四五一万四千円、衛生費三、八五五万四千円、農林水産業費四、〇七二万六千円の増額などとなっています。

一般会計補正予算 (第三号)

歳入及び歳出(単位：千円)
 補正前四二億二、六四六万六千七百七十七円
 補正額 七、二〇〇万四千五百九十二円
 補正後四二億九、八五一万二、一三九千七百六十九円

補正内容の主なものは、歳入では、地方交付税、国・県の補助金のほか、諸収入でコミュニティ助成金二、四〇万円の増額及び前年度繰越金二、二二万円の減額などです。

歳出では、総務費でコミュニティ助成金を受けての地域づくり事業費(二、五〇万円)や人事院勧告及び定期昇給等に伴う人件費(合わせて一、五六七万六千円)の増額や徴税費(△二七六万六千円)の減額、民生費

で在宅介護支援センター(桜花苑)への委託料(七二〇万円)や障害者福祉関係の費用(二九六万四千円)の増額、衛生費で老人保健特別会計への繰出金(三、七二六万六千円)の増額、農林水産業費が花の駅運営管理委託費(四、〇〇〇万円)の増額などです。



各特別会計の補正予算

- 国民健康保険特別会計補正予算(第一号) 六億六、七六六万八千円(四、八五四万円の増額)
- 老人保健特別会計補正予算(第一号) 六億八、四三六万七千円(一億二、七三五万円の増額)
- 簡易水道事業特別会計補正予算(第二号) 一億一、五四二万八千円(八九万六千円の増額)
- 農業集落排水事業特別会計補正予算(第二号) 一億四、五三四万八千円(七九万四千円の減額)
- 下水道事業特別会計補正予算(第二号) 翌年度への繰越明許費七、八〇〇万円の設定
- 介護保険特別会計補正予算(第二号) 三億〇、五四〇万円(三〇万円の増額)

人権擁護委員候補者には

星野幸市氏を再推薦

現人権擁護委員の星野幸市氏の三年の任期が平成十六年二月二十九日に満了となりませんが、星野氏は人格、識見ともに適任であるという事で、引き続き星野氏

が候補者として推薦されました。
 ◎人権擁護委員候補者
 片品村大字鎌田四二一九番地二
 星野幸市氏

教育委員は入澤誠氏を再任

片品村教育委員会委員の入澤誠氏が任期満了となり

ますが、入澤氏は適任者であり、引き続き入澤氏にお願いしたいということで再

その他の主な議決事項

● 片品村生活環境整備推進資金

融通特別措置条例

排水施設の新設や改良等の整備を行う方に対して、低利の融資が行われるよう利子補給の措置を講じ、農

法定協へ加入申し入れの決議に

〔反対〕

星野 司議員

本日(の)の議事に、村民が中心となって市町村合併に反対する請願書が提出された。全員協議会において、緊急性はない、合併はまだすぐには決まるものではない、との見解の中、三月定例会での審議で十分であろうとの意見が多く、継続審議の取り扱いとなった。決議との取り扱いは違があるとはいえ、請願書が今定例会で審議されなかったことは誠に残念である。

また、先日の村民への説明会において、村当局が「予算は厳しいがみんなの知恵を出しながら運営していければ、自主自立ができるだろう」という報告があったにもかかわらず、議会だけが村民と行政の意向と違う方向

論 討

討論とは、現に議題となっている事件に対して、自己の賛成または反対の意見を表明することです。

● 片品村道路占用料徴収条例

業用水路や河川の汚染を防ぐとともに、村で進める花の谷構想の推進の一助とするものです。

対象者は農業集落排水事業に加入した方、北部の特

道路法では「道路管理者である村長は条例の定めるところにより道路の占用につき占用料を徴収することができます」と定めています。が、今まで、片品村にはこの条例がありませんでした。今回、条例を制定することにより、村道について道

へ行く事に対して、反対。

千明金造議員

合併問題を考える上で一番の基本は、まず、住民の声を最大限に取り入れなければならないと考えます。

また、新しい市が一時的に財政基盤が強化されても十年後には赤字財政へと落ち込む(と予想される)中で、片品村のような周辺地域となる村が合併の道を選んだらば、小さな村(集落)はやがて消え、荒廃した土地だけが残るのではないかと考え、反対。

〔賛成〕

萩原一志議員

片品村は、近隣の利根村との協調により、消防署やクリーンセンターなどの事業を二村で協力をしながら行っており、二村でやっているために運営が賄えているという現状がある。この他にも広域圏でやっている火葬場の問題や利根商の問題等あり、一村ではやっていけないという広域圏の問題が大きくここに立ちはかかるものである。

こうしたことを考え、現在、進行している法定合併協へ早いうちに参加を申し入れ、広域圏等の問題も意見ができるようにしていた

だきたい。时期的にも加入が遅くなると、すべての決議がなされて行くという状況である。

あくまでも、これは加入申し込みであり、そういうアクシオンを起こすことによって、自主自立という道をもし最終的に歩んだとしても、我々は広域圏というものの中でみんなと協力をしなければ生きていけないんだという意思表明にも繋がるかと考えて、賛成。

角田政弘議員

現在の片品村の財政状況や今後の推計を考えると、自主自立の道を歩んで行くというのは非常に困難なことであると思う。もし、自主自立の道を歩むとすれば村民に対して多大な負担やサービスの低下など、色々な問題が発生するように思われる。このような状況を考えると、合併問題は避けて通れない問題だと思ってる。

合併に対する優遇措置は期限立法でもあり、平成十七年三月三十一日までに決議といった期限が設けられており、他の町村がその期限に向けて合併協議を進める中、片品村はまだそのテーブルにさえ着くことができない。一日も早くテーブルに着き、合併協議を進めていただくことをお願い申し上げます、賛成。

こんな質疑がありました

貸付限度が低いと思うが？

【質問】(萩原一志議員)

農協からの申し出があった。この条例を制定したいということだが、他の金融機関に対して多少の話はしているのか。

【答弁】(経済課長)

今後の状況を考えて、貸付限度額の三〇万円以内というものを一〇〇万円以内くらいまでの範囲に広げて、償還期限も三年以内というものをこの限度額に見

合ったものに広げていた。また、貸付金利等についても各金融機関が足並みを揃えて同じ条件でできるような方向で進めていた。また、村民がござって供用開始に入れるように、また、その手助けを均等にできるように、また、これを推進していただきたいと思います。

今後、検討していきたい

【質問】(経済課長)

農協以外の金融機関については、連絡はしていないが、条例ができたら正式に交渉にあたらせていただきたいと思っ

【答弁】(村長)

現在、加入者は少ない状況にあるが、今後、増える

資金の予算額はどのくらいか？

【質問】(吉野賢治議員)

利子補給の関係で、この資金の総額は村長が定める

利子補給が始まる前に

予算措置をお願しいたい

【答弁】(経済課長)

まだ、具体的な個々の資料というのはなく、したがって、条例が通った後に金融機関等が募集することに

【答弁】(経済課長)

これから申し込みを受け付けて、実際の利子補給が半年後に始まるということ、その間に予算措置をさせていただくようになる。

貸出金利はどのくらいになるのか？

【質問】(萩原日郎議員)

過去に農協が、スキー客が激減している宿泊業の人達に対して、緊急融資制度を設けたことがあるが、貸出金利を巡って見解の相違があり、農協の担当者に全

【答弁】(経済課長)

金利については、当然、変動がある。従って、今現在どのくらいの金利か、と

今現在、二・六%の予定である

【質問】(吉野 勲議員)

道路占用料については、細かく金額が出ているが、その基準的なものはあるのか。

近隣を参考に算出した

【答弁】(建設課長)

道路占用料を徴収している地方公共団体については、近隣では、利根村・沼田市あるいは群馬県となっているが、片品村の提案した占

罰則規定がないが？

【質問】(星野育雄議員)

山中等に車や粗大ゴミが多く捨てられているが、これは故意に土地の所有者が捨てたものではないと思わ

【答弁】(保健課長)

総体的には難しい。防止を図っている所もあるが、総体的にはなかなか難しいことである。村民や地域全体で理解、協力して行かないと難しい問題なので、事ある毎に皆さんに説明したり協力を

慎重に検討しなければいけない

【答弁】(保健課長)

罰則規定については十分慎重に検討しなければならぬと思う。

【答弁】(後藤正一議員)

個人で所有している土地は、(不法投棄をしないよう)管理をするのは大変な

不法投棄箇所

バリケード等張れないのか？

【答弁】(保健課長)

こういったことはモラルの問題ということもあり、啓蒙や啓発をかなり強力にして行かないと解決するものではないと思う。

総体的には難しい

【答弁】(保健課長)

村でも不法投棄看板を各所に随時設置し、場外口によってはバリケード等も張って

金銭的な援助も考えていいのか？

【質問】(萩原一志議員)

(条例案で)この地区において廃棄物を減量したり再生利用等する村民の自主的な活動の推進を図り、適正な処理に必要措置を

検討は必要だと思ふ

【答弁】(保健課長)

金銭的なことは考えてい

ないが、検討は必要だと思
う。

これに關係して、農業用
マルチ等の産業廃棄物につ
いては、量も多いというこ
とで、農協や関係課と話し

なぜ、この時期に決議をするのか？

合併については、住民ア
ンケートで合併反対が賛成
を大きく上回り、九月の任
意合併協議会の中で前村長
が合併のアンケート結果や
議員の反対を考慮した中で
議決を決定した訳だが、十
月からは再び合併問題が
大きく取り沙汰されている。
先日の住民説明会では多
くの村民から様々な意見が
出て、あるいは僅かな期間

合って、処理は行っている
し、これに対する予算措置
は必要である。
(この条例に關しての予算
は)現在のところは計上し
ていないし、考えていない。

村民に選択肢を提供していきたい

【答弁】(萩原日郎議員)

アンケートについては、
私どもは、村民にもっと判
断基準を示せと何回も言っ
てきた。しかし、的確な判
断基準を示せないまま、と
にかくアンケートを取ると
いうことで取られた。当然、
アンケートの結果は重要な
参考にしなければいけない
が、賛成が反対を上回った
からといって、これが自主
自立の意志表明だというふ
うに判断するのは、合併反
対の意志を表明した人に大
変失礼だと思っている。ど
この住民投票あるいはアン
ケートでも、それを結果と
して判断材料に上げるのな

また、村民のアンケー
トの結果をどのように考
えているのか。住民説明会
では、再度アンケートや住
民投票をして欲しいなど
様々な意見が出たが、そ
の何をどのように考
えているのか。

また、村民のアンケー
トの結果をどのように考
えているのか。住民説明会
では、再度アンケートや住
民投票をして欲しいなど
様々な意見が出たが、そ
の何をどのように考
えているのか。

また、村民のアンケー
トの結果をどのように考
えているのか。住民説明会
では、再度アンケートや住
民投票をして欲しいなど
様々な意見が出たが、そ
の何をどのように考
えているのか。

また、村民のアンケー
トの結果をどのように考
えているのか。住民説明会
では、再度アンケートや住
民投票をして欲しいなど
様々な意見が出たが、そ
の何をどのように考
えているのか。

また、村民のアンケー
トの結果をどのように考
えているのか。住民説明会
では、再度アンケートや住
民投票をして欲しいなど
様々な意見が出たが、そ
の何をどのように考
えているのか。

また、村民のアンケー
トの結果をどのように考
えているのか。住民説明会
では、再度アンケートや住
民投票をして欲しいなど
様々な意見が出たが、そ
の何をどのように考
えているのか。

また、村民のアンケー
トの結果をどのように考
えているのか。住民説明会
では、再度アンケートや住
民投票をして欲しいなど
様々な意見が出たが、そ
の何をどのように考
えているのか。

また、村民のアンケー
トの結果をどのように考
えているのか。住民説明会
では、再度アンケートや住
民投票をして欲しいなど
様々な意見が出たが、そ
の何をどのように考
えているのか。

また、村民のアンケー
トの結果をどのように考
えているのか。住民説明会
では、再度アンケートや住
民投票をして欲しいなど
様々な意見が出たが、そ
の何をどのように考
えているのか。

また、村民のアンケー
トの結果をどのように考
えているのか。住民説明会
では、再度アンケートや住
民投票をして欲しいなど
様々な意見が出たが、そ
の何をどのように考
えているのか。

また、村民のアンケー
トの結果をどのように考
えているのか。住民説明会
では、再度アンケートや住
民投票をして欲しいなど
様々な意見が出たが、そ
の何をどのように考
えているのか。

また、村民のアンケー
トの結果をどのように考
えているのか。住民説明会
では、再度アンケートや住
民投票をして欲しいなど
様々な意見が出たが、そ
の何をどのように考
えているのか。

また、村民のアンケー
トの結果をどのように考
えているのか。住民説明会
では、再度アンケートや住
民投票をして欲しいなど
様々な意見が出たが、そ
の何をどのように考
えているのか。

また、村民のアンケー
トの結果をどのように考
えているのか。住民説明会
では、再度アンケートや住
民投票をして欲しいなど
様々な意見が出たが、そ
の何をどのように考
えているのか。

また、村民のアンケー
トの結果をどのように考
えているのか。住民説明会
では、再度アンケートや住
民投票をして欲しいなど
様々な意見が出たが、そ
の何をどのように考
えているのか。

また、村民のアンケー
トの結果をどのように考
えているのか。住民説明会
では、再度アンケートや住
民投票をして欲しいなど
様々な意見が出たが、そ
の何をどのように考
えているのか。

また、村民のアンケー
トの結果をどのように考
えているのか。住民説明会
では、再度アンケートや住
民投票をして欲しいなど
様々な意見が出たが、そ
の何をどのように考
えているのか。

また、村民のアンケー
トの結果をどのように考
えているのか。住民説明会
では、再度アンケートや住
民投票をして欲しいなど
様々な意見が出たが、そ
の何をどのように考
えているのか。

また、村民のアンケー
トの結果をどのように考
えているのか。住民説明会
では、再度アンケートや住
民投票をして欲しいなど
様々な意見が出たが、そ
の何をどのように考
えているのか。

また、村民のアンケー
トの結果をどのように考
えているのか。住民説明会
では、再度アンケートや住
民投票をして欲しいなど
様々な意見が出たが、そ
の何をどのように考
えているのか。

また、村民のアンケー
トの結果をどのように考
えているのか。住民説明会
では、再度アンケートや住
民投票をして欲しいなど
様々な意見が出たが、そ
の何をどのように考
えているのか。

また、村民のアンケー
トの結果をどのように考
えているのか。住民説明会
では、再度アンケートや住
民投票をして欲しいなど
様々な意見が出たが、そ
の何をどのように考
えているのか。

また、村民のアンケー
トの結果をどのように考
えているのか。住民説明会
では、再度アンケートや住
民投票をして欲しいなど
様々な意見が出たが、そ
の何をどのように考
えているのか。

また、村民のアンケー
トの結果をどのように考
えているのか。住民説明会
では、再度アンケートや住
民投票をして欲しいなど
様々な意見が出たが、そ
の何をどのように考
えているのか。

また、村民のアンケー
トの結果をどのように考
えているのか。住民説明会
では、再度アンケートや住
民投票をして欲しいなど
様々な意見が出たが、そ
の何をどのように考
えているのか。

また、村民のアンケー
トの結果をどのように考
えているのか。住民説明会
では、再度アンケートや住
民投票をして欲しいなど
様々な意見が出たが、そ
の何をどのように考
えているのか。

また、村民のアンケー
トの結果をどのように考
えているのか。住民説明会
では、再度アンケートや住
民投票をして欲しいなど
様々な意見が出たが、そ
の何をどのように考
えているのか。

また、村民のアンケー
トの結果をどのように考
えているのか。住民説明会
では、再度アンケートや住
民投票をして欲しいなど
様々な意見が出たが、そ
の何をどのように考
えているのか。

また、村民のアンケー
トの結果をどのように考
えているのか。住民説明会
では、再度アンケートや住
民投票をして欲しいなど
様々な意見が出たが、そ
の何をどのように考
えているのか。

また、村民のアンケー
トの結果をどのように考
えているのか。住民説明会
では、再度アンケートや住
民投票をして欲しいなど
様々な意見が出たが、そ
の何をどのように考
えているのか。

また、村民のアンケー
トの結果をどのように考
えているのか。住民説明会
では、再度アンケートや住
民投票をして欲しいなど
様々な意見が出たが、そ
の何をどのように考
えているのか。

また、村民のアンケー
トの結果をどのように考
えているのか。住民説明会
では、再度アンケートや住
民投票をして欲しいなど
様々な意見が出たが、そ
の何をどのように考
えているのか。

を模索し、現在に至って
いると思う。

なぜ合併の申し入れをす
る決議をするかということ
だが、これは決して合併の
決議ではない。合併したい
から中に入れて下さいとい
う申し入れをすることであ
って、相手が申し入れを受け
てくれるかどうかはまだ分
からない。しかし、私達の
村が単独でやって行くには
とても無理があるというふ
うに判断して、今日の決議
文を作成した訳である。

法定協に申し入れること

法定協に申し入れること
は合併ではないとの説明だ
が、法定協に行くというこ
とは合併の道を進むとい
うに誰もが考えるはずで
ある。

それと、説明会で住民の

様々な意見が出た中で、少
なくとも合併反対の声が多
数あったように考えている
が、見解をお聞きしたい。

ご指摘のとおり、合併の

道を進もうということには
全く変わりはない。
説明会の中で、自主独立
の道を進んで欲しいという
声が多かったであろうとい
うことは、私も想像してい
る。従って、この決議文の
内容によって皆さんに選択
肢を提供するということが、
あの場に来なかった九十数
パーセントの村民にもアン
ケートや住民投票の場を私
たちは作っていく必要があ
ると考える。

合併問題はやはり住民の
声を最大限尊重しなければ
ならないという中で、ここ
で議員が独自に判断するこ
とに疑問がある。
【答弁】(萩原日郎議員)
議員が独自に合併を決め
るといふ考え方は全くない。
議会の大勢の意向であった
としても、住民の声が実際
にどうなるかは、これから

行政視察報告

各常任委員会では、11月にそれぞれ 関係する施設等の行政視察を行いました。 その概要は次のとおりです。

総務・文教 常任委員会

視察の期日
平成十五年十一月十八日
視察の場所
岐阜県大野郡丹生川村
視察の目的
乗鞍の自然保護と税につ
いて(乗鞍環境保全税)
視察の概要
丹生川村は本州のほぼ中

私たちが色々な情報を提供 して行く中で判断してもら うこと。 従って、住民投票や何か がきちんとしたルールのも とに行われて、過半数になっ た場合には、例えば村長が自 主自立路線で行きたいと思っ ていたとしても、村長は住 民の意志を本心に尊重して いたかなければいけない と思っている。

中央に位置し、太平洋と日本
海の分水嶺に近く、西方は
高山盆地の一部を成し、東
方は日本の屋根ともいわれ
る北アルプスに続く高原地
帯である。
岐阜県では東北部に位置
し、大野郡の北東部にあた
る。東は長野県及び吉城郡
上宝村、西は高山市及び大
野郡朝日村と高根村、北は
上宝村と接する東西三二km、
南北一三kmのほぼ長方形の
地形で標高は五四〇mから
三、〇二六mの乗鞍岳に至
り、標高差は二、四八六m
ある。中央部を東から西に
流れる神通川水系の小八賀
川と荒城川によって、二分
されている地形である。
村の総面積は二万二、七
一五ヘクタールでその約九
〇%にあたる二万一二二ヘ
クタールは森林で農用地は
四・二%に過ぎない。
主な産業は農業であり、
高冷地の特性を生かしたト
マトやほうれん草などの施

設栽培が盛んで県下でも有
数な農業の村です。特にト
マト栽培では先進地として
各地から注目を浴びていま
す。また、農業基盤整備は
整備率が水田、畑地とも七
〇%を越える数値となっ
ている地域です。
一観光面については主とし
て乗鞍岳が中心であり、国
内最高地点(海拔二、七〇
〇m)を通る山岳道路であ
る乗鞍スカイラインから望
む風景は絶景と言えらる。特
に盛夏の乗鞍岳には貴重で
可憐な高山植物が咲く花畑
が広がり、吹く風に冷たさ
が感じられる秋には燃える
ような紅葉があたりを埋め
尽くす、素晴らしい季節を
作り上げている所です。
◆視察の結果
乗鞍観光保全税の創設の
趣旨及び概要は次の通りで
ある。
中部山岳国立公園内にあ
る乗鞍岳周辺はライチョウ
などの希少生物が生息し、
また貴重な高山植物の自生
などがみられるため、規制
の厳しい特別保護区に指定
されている。この地域には
岐阜県からは乗鞍スカイラ
インを利用して、長野県側
からは乗鞍エコーラインを
利用して、双方から車で入
り込むことが出来るため、
気軽に貴重な自然を楽しめ
る場として人気を集めてい
るが、人の入り込みによる
自然環境に及ぼす影響(ゴ
ミのポイ捨てや高山植物の



▲丹生川村役場での視察の様子

盗掘など)がかねてから問題となっている。

平成十五年度から乗鞍スカイラインが無料化される事により自動車の流入量が激増し、自然環境に悪影響を及ぼすことが懸念される為、地元市町村を中心に検討が進められ無料化後はマイカー規制を実施することとした。

県ではマイカー規制を契機として積極的な乗鞍地域の環境保全施策を実施することとし、その為の財源を原因者に求める方法として法定外目的税(乗鞍環境保全税)の導入をすることとした。

徴収方法及び額については乗鞍鶴ヶ池駐車場料金として観光バス三、〇〇〇円、一般乗合バス二、〇〇〇円、二人以下バス一、五〇〇円、一人以下自動車三〇〇円として徴収している。

また、税収の使途としては乗鞍地域の環境保全(環境影響評価調査、環境バトル、自然環境指導)に

充てている。施行期日は平成十五年四月一日より行い、課税期間は三年を目途として必要な見直しを行うこととなっている。また、施行一年目の税収額については三〇、四三八、二〇〇円となり、当初計画の通りになったとの説明を受けた。しかし、観光客入り込み状況については、有料道路時に比べ四五%減という状況となり、鶴ヶ池周辺での観光面については今後課題を残しているようであるが、当初の目的である環境保全という面は達成されているので、地域の方々の理解を得られている。

このように観光客に一定の負担を求めることにより、自然環境保全意識の高揚を図る政策税制は、世界に誇れる「尾瀬」を観光地に持つ我が片品村にとっても共通する点も多く、このような事例を参考とし、今後に反映できればと考えます。

◆ 民生・観光 常任委員会

◆ 視察の期日 平成十五年十一月十八日

◆ 視察の場所 岐阜県吉城郡上宝村

◆ 視察の目的 観光振興について

◆ 視察の概要

上宝村は、人口三、九八〇人で、岐阜県の最北端、吉城郡の東部に位置し、東部は飛騨山脈の脊梁を県境

に、長野県安曇村・大町市、西部は国府町及び神岡町、南部は大野郡丹生川村、北部は富山県大山町に接しています。

総面積は四七五・一二〇あり、東西三六・八八km、南北二八・一一km、日本でも有数の広大な面積があり、標高四〇〇mの田園地帯から三、〇〇〇mを超える山岳地帯まで、多様な景観と植生・動物相に恵まれ北アルプスに抱かれた豊かな四季を体感できる村です。

上宝村は昭和三十年代から本格的な観光振興を始め、高度成長期の時代背景にも恵まれて発展し、その後は温泉・リゾートブーム、露天風呂(露天風呂)などの追い風を受け、また、平成九年に国道一五八号中部縦貫道安房トンネルが開通したことにより、飛騨地方の「奥」から関東地方の表玄関へとその位置付けが大転換したとの事でした。現在、他の観光地が誘客数を大幅に減らすところが多い中、観光客数は年間一五〇万人を超え、入湯税収入年間約一億三千万円と高い水準で推移しています。

村当局は、奥飛騨温泉郷観光協会への委託事業として、ライトアップ事業・観光振興事業・東海雪合戦事業・観光PR事業・各地区観光協会イベント事業を展開しており、地道で堅実

な誘客活動をしているとのことでした。

また、村が運営している休養宿泊施設は、旅館二軒、食堂・売店一軒、駐車場二箇所です。平成十四年度決算においては五千六百万円強の収益を計上しており、修繕等に使うための基金の残高は四億六千万円にものぼるということでした。

◆ 視察の結果

今日、就業人口の四割以上が観光業に携わるこの村は、「ずっと住みたくなくなるの整備」・「何回も訪ねたくなる村の整備」という二つの柱によって公共事業や村づくり事業を進めているとのことでした。旅館の生ごみを循環型社会形成の一環として再利用に取り組み、無農薬、化学肥料を使わない農地整備を始めた試みや、滞在型観光地を目指して施設の充実を図っていく姿勢には参考となる部分が多々あるように思われました。

また、上宝村の村長、議長さん共に、行政が主導で



▲上宝村役場での視察の様子

事業を行う時代ではないということ、村営のスキー場三箇所の経営から撤退し、民間に期待し事業を任せて行くということでしたし、今ある村営施設も随時、事業委託していく方針だということが印象的でした。このような考え方は、村営施設が多くある片品村においても検討していただきたいと思えます。

◆ 産業・建設 常任委員会

◆ 視察の期日 平成十五年十一月十八日

◆ 視察の場所 岐阜県大野郡丹生川村

◆ 視察の目的 トマト産地の状況について

◆ 視察の概要 丹生川村は、本州のほぼ中央に位置し、太平洋と日本海の分水嶺に近く、西方は高山盆地の一部を成し、東方は日本の屋根と言われる北アルプスに続く高原地帯である。岐阜県では、東北部に位置し、東は長野県、西は高山市に接する。村のシンボルである乗鞍岳をはじめ雄大な自然を人々の心の拠り所にし、高山植物の保護や保全に地域ぐるみでの取り組みも大きな成果を上げています。乗鞍岳や大切な自然を観光資源として利用するだけでなく、守り育て行く精神が丹生川村の暮らしや文化を支える最大の

要因になっている。

視察目的であるトマト産地の状況であるが人口四、八四六八人、村の総面積三、七二五ha、県内九市町村のうち二番目の広さを持ち、その九〇%が森林である。農用地は九〇一haで四・〇%に過ぎない。気候は内陸性気候に属し、気温の差が大きく、積雪寒冷地帯となっている。トマト耕作面積は二八・五ha、全体の一三%であるが、農業販売額は四七%占め、村の基幹作物となっている。トマト栽培の歴史も古く、三十年來の実績を持つ。近年問題となっている土壌病害対策を始め防虫ネット、天敵飼料、黄色蛍光灯の導入などグリーン農業に向けての取り組みも行われている。また、選別等の効率化、品質管理には特に重点をおき、昭和六十三年に導入した高性能選別トマト選果場や品質保持のための予冷施設等、高品質安定生産に努め、消費者に信頼を得ているようである。

高冷地の気候を活かし、味や品質にこだわりトマト産地としての誇りが知名度を高めているゆえんである。

出荷先としては関西中京方面が主であるが、品質安定や飛騨エアパークを利用した空輸による市場開拓により、近年は関東方面に販路の拡大を計っている。

◆視察の結果

丹生川村の地場産業である観光と農業、日本が目にする元気な農村をスローガンに農業への取り組みは大きな成果を上げている。恵まれた条件を活かし、適正価格で高品質な農作物をつくれる様、省力化や機械化を進める一方で、農産物加工により付加価値を高めた

全国の村の中では日本一を誇る一面と熱意が伺えた。今後の課題点として、関東経済圏へのさらなる販路拡大や、片品村にも共通する後継者の確保や育成等、いち早く取り組みなければならぬ課題も残されているが、時代のニーズを先取りした取り組みや、近代的で先進的なシステムの確保、農業者に夢を与える施策は、片品村における農業問題を考える上で大変参考になりました。

●桜花苑デイサービスセンター

増設に伴う助成について

星野 完治 議員

本村における六十五歳以上の方の人口は一、五〇四人で高齢化率二九パーセントになっている。こうした状況の中、必ずしも高齢者一人一人の生活環境は一概にはいかない。

一般質問

一般質問とは、議会で提出され審議の対象となっている事件に関係なく、行政全般について、事務執行の状況や将来にわたる方針などについて、村執行部の考えをただし、あるいは事実の報告や説明を求めることをいいます。

幸いにして、本村には社会福祉法人尾瀬長寿会桜花苑があるが、片品村デイサービスセンターとしての桜花苑は、平成九年六月、知事による事業開始認可により定員十五名でスタートした。介護保険制度により指定通所介護事業所として定員三名で認可、特別養護老人ホーム桜花苑と併設で事業を運営している。

社会の到来により、桜花苑のデイサービスを利用する人達も年々増加し、申し込んでも受けきれない状態である。施設の増設計画も立てているようだが、国、県の補助金は平成九年度に全額交付済み、今後の増設部分には補助金の出所がないように聞いている。

高齢者が安心してできる施設整備に向けて検討したい

答弁(村長)

本村においては、平成九年に建設された特別養護老人ホーム五〇床の桜花苑が社会福祉法人尾瀬長寿会により運営されている。国、県の基準に適合した、補助を受け整備されたもので、デイサービスセンター、介護支援センターも県の指導により併設され、片品村からの委託事業として老人福祉の増進に寄与している。

片品村における在宅サービスの中で大きな役割を担っている桜花苑のデイサービスセンターの状況を申し上げると、定員二二名で運営していたが、利用希望者の増加に対応するため、本年から二八名の定員とする事業認可を受けて、施設整備に努力をいただいている。しかし、現状でもデイサービスの待機者が多く利用希望者の要求を満たせないケースも出ているので、現在、

が、二四〇平方メートルの増設計画を立てて総事業費が七、〇〇〇万円くらいになる見込みだが、応分の一分のいくらの補助金を交付していただけないか。財政、厳しい状況とは思いますが、希望者の意をお汲みいただき特段のご配慮を切望したく、片品村の考えをお聞かせいただきたい。

●新しい村づくりについて

星野 育雄 議員

自然と共生した農業と観光の振興のために、地元農業生産物を観光客に消費してもらおう仕組みづくりを農家と民宿旅館、スキー場等で協議会を作って実施してはどうか。また、農業経営の中に片品に適した花き栽培をもっと普及し観光客等へ直売できる体制づくりを推進するべきだと思ふ。さらにスキー場のゲレンデを片品の花の楽園にして春から秋にも観光客をもっと呼び込む努力をスキー場と農家で連携して組織的に取り組んではどうか。

生産と生活基盤の整備のために、新摺測橋の早期建設のため、新年度予算に調査費を計上するとともに関係機関と連携して早期着工していただきたい。また、農業集落排水事業及び土地基盤整備事業の積極的推進をお願いしたい。そして、

てやらなくてはならないと思う。

いうことで、本当に努力をされており心から敬服をしている。

こういった気持ちで行政側もよく汲み取って、これからも村として補助事業等も含めて探しながら、希望に込められるように関係者と協議をさせていただきたいと思う。

国土調査を早期に実施すべきだと思ふ。

行政改革の推進のために、行政組織の統廃合、役職員の削減、村営事業の民間移譲等を実施し、歳出の見直し、経費削減を図らなければならないと思ふ。片品村文化協会や片品芸能鑑賞会等、村民の自主的文化芸術活動をより積極的に支援し、心の豊かさや文化の向上を図るべきだと思ふ。また、明治八年十一月に摺測小学校が創設されてから平成十七年で一三〇周年になる。片品村の小学校で創立から学校史が発刊されていないのは武尊根小学校だけである。あと二年のうちに記念誌を発刊させ、一三〇周年記念事業を実施できるように特段のご支援をお願いしたい。

村づくりの基本は人づくりであり、片品村として百

年の体系を考えた村づくりをするためには、村づくり塾を開設し広く塾生を募り村づくりの学習、調査、実践等を積み重ね人材を養成して行く必要があると思う。

議会の多数意見は合併推進、村長の意見は自主自立で対立している。本日の利根沼田市町村合併協議会に加入申し入れをする決議を踏まえた村長の決意をお聞かせ頂きたい。今後、議会と村長で協議を重ね両者が歩み寄り村民の意志を確認した上で、片品村としての

村民の意見を反映できるよう 計画を立てていきたい

答弁(村長)

自然と共生した農業と観光振興について、ということだが、その中で片品産のものや消費する仕組みということがあるが、自産自消は物流制度の原点であるので、十分、検討また研究をして行きたいと思う。花き栽培の普及と直売の体制づくりについては、今後の農業と観光の接点として振興すべき分野だと思っている。条件は整いつつある中で、農家の状況と販売する方法などについて、さらに追求して調査を進めチャンスを見て取り組めれば、と思っている。これから専門家や長い間実績を上げておられる星野育雄議員にも、ぜひ知恵を拝借して進めて

道を決定し、全村民が一丸となって新しい村づくりに取り組める方向づけと具体策を実行して行かなければならないと思う。

以上、新しい村づくりのための六件について、村長の前向きな答弁をお願いしたい。
なお、自主自立のための具体的な計画、将来ビジョンを村民に提示して欲しいし、行政改革を含めた新総合計画を議会や住民と一緒に作るべきだと思うが。

行きたいと考えている。また、スキー場のゲレンデの花園ということだが、水上高原のコスモスや立敷スキー場のヤナギランなど、幾つかの例がある訳で、一つの観光の資源ということでもあるし、花の生産者の皆さんを含めて専門家の皆さんとの情報交換ができれば、と考えている。

新摺測橋のことについては、この路線である摺測・花咲線の道路改良を現在進めているが、肝心の現在の摺測橋は誰もが不便を感じているところである。この点については主管の国土交通省や県に対してさらに強く要望して早期実現に向けて頑張りたいと思っている。国土調査は、実施

することにより、土地の面積や境界などが大変明確になるし、より良い住環境ができる訳であるが、事業を行うためには長期に渡る期間が必要ということであり、片品村で取り組んだ場合、二〇年以上もかかるのではないかと思われる。すぐという訳にはいかないが、これからの検討課題として行きたい。

また、行政改革の推進ということだが、機構改革については、既に十一年度より再三検討して来ているが、市町村合併等の問題が現在先決となって、足踏み状態にある。村民に開かれた行政組織の改革に一日も早く取り組んで行きたいと考えている。職員一人あたりの業務量など再検討して事務の効率化を高め、職員の削減に努めたい。施策の見直しについては、簡素で効率的な行政の推進を基本に事業の目的や目標水準を明確にし、村民の期待に応えられるよう検討して行きたいと思う。また、多くの村民からご意見をいただいている接遇や窓口などについても、改善を検討し現在指示を出している。歳出の削減に努め、投資的な経費に振り向けられるよう努力をして行きたい。

また、村づくり塾ということであるが、片品村では平成六年七月に美しく快適で活力ある地域づくりのための各種の運動を展開している。地域活性化のために片品村山村活性化支援機構を設置し、ここでは、村づくり塾でほうらくとして、人材育成のための勉強会をして、先進地視察や勉強会等、以後数年に渡って取り組んだ経緯がある。その後、本塾への参加者は村の総合計画の審議委員や景観審議会委員で、村づくり活動に

積極的に参加をしていた訳である。また、最近では山村の地元資源活用促進事業など、地元住民が主体となって自然や風土、伝統文化や歴史、生活などについて再発見をする、といったものも多く行われている。それらを活用しながら将来を託せる人材づくりに努めて行きたいと考えている。

合併問題については、過日、私自身も自主自立を目指すということをお話しさせていただいた訳である。日本中が現在、合併についての様々な問題が出ている現状であり、こういったことは私自身もすっかりと承知をしている。私が自主自立ということを上げた理由には、アンケート調査の結果等を踏まえて、やはり自主自立の道、そして、片品村には色々な資源があり、そういったことを含めてできれば村民と力を合わせてやって行きたいという思いの中で申し上げた訳である。議員の皆様方の意志も、当然、分かっているが、今後、そういった意志も含めて、色々考えて行きたい。

なお、自主自立でやっていく場合の計画も早急に議会の皆様方にご報告等させていただき、さらに総合計画として、これから議員の皆様方や、また、将来に向けての計画なので、村民の意見も反映できるようにしていきたい。

また、行政改革の推進ということだが、機構改革については、既に十一年度より再三検討して来ているが、市町村合併等の問題が現在先決となって、足踏み状態にある。村民に開かれた行政組織の改革に一日も早く取り組んで行きたいと考えている。職員一人あたりの業務量など再検討して事務の効率化を高め、職員の削減に努めたい。施策の見直しについては、簡素で効率的な行政の推進を基本に事業の目的や目標水準を明確にし、村民の期待に応えられるよう検討して行きたいと思う。また、多くの村民からご意見をいただいている接遇や窓口などについても、改善を検討し現在指示を出している。歳出の削減に努め、投資的な経費に振り向けられるよう努力をして行きたい。

編集後記

◎年末年始は順調な降雪に恵まれたが、スキー産業の活性化と景気回復を願う今日この頃である◎国内外を取り巻く環境は冷戦崩壊や湾岸戦争を機に激変した国際情勢に日本も無関係ではいられなくなり、国連決議に基づき戦闘行為の停止など厳しい条件のもと人道復興支援活動に絞って自衛隊の派遣を閣議決定した。隊員の活躍と無事を願うばかりである◎十二月定例会では、三件の行政視察報告、二件の条例の制定、条例の改正が三件、一般会計及び特別会計の補正、人権擁護委員の推薦、教育委員会委員の任命などが提案され、全案件とも可決、承認された◎二〇〇四年の幕開けとともに、我が片品村も村民一丸となって観光事業の目玉であるスキー産業の発展を目指し、一人でも多くの誘客に向けて更なる努力が必要であると考える◎合併問題は目先の問題だけでなく、未来を担う子供たちのことを念頭に置き検討を進めなければならぬ。

(登喜天記)